

件名	横浜国際プール 平成29年度 第2回優先利用調整会議 報告書
日時	平成30年1月24日(月) 15:30 ~ 16:30
場所	横浜国際プール メインアリーナ役員室C
出席者 敬称略	富田委員(日本体育大学)、鈴木委員(日本水泳連盟)、井田委員(神奈川県水泳連盟)、 和城委員(神奈川新聞社)、下村委員(都筑区役所)、寺口委員(横浜市市民局)、 植木委員(横浜市体育協会) (事務局ほか同席者) 横浜市市民局 山田係長、横浜市体育協会 伊藤、宮田、石川、藤井 コナミスポーツクラブ 林、 トーリツ 星
欠席者	都筑スポーツプランナー竹の子会 皆川委員
議題	議題 平成30年度 横浜国際プールの優先利用日程の決定について
内容	<p>開会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ (横浜市市民局スポーツ振興課 寺口担当課長) (指定管理者グループ、横浜市体育協会 伊藤地域スポーツ施設経営局長) ・出席者、同席者の紹介を行う。 ・会議の趣旨説明を行う。 ・議事録のホームページ公開について全委員が了解する。 議長：富田委員を選出する。 <p>議事</p> <p>議題 平成30年度 横浜国際プールの優先利用日程の決定について 横浜国際プール館長が説明を行った。</p> <p>(館長)</p> <p>平成30年度横浜国際プール利用方針に基づき優先利用計画案を作成したので提案をする。今年度は日本最大級の水泳大会、2大会を関係団体と横浜市にお力添えいただき誘致できた。しかし、プールの個人利用のできない日は35日(10%)以内を目指していたが、40日(11%)になってしまった。</p> <p><平成30年度 利用方針></p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 国際級、全日本級の公益性の高いスポーツ大会を最優先に確保 (2) 横浜市等の行政施策に貢献 <ol style="list-style-type: none"> ア プロスポーツの推進 イ 県・市大会の実施 ウ 学校関係の事業 エ 指定管理者の主催する事業 (3) 個人及び団体利用の確保と収益性の高い催物の誘致

質疑・意見

(寺口委員)

興行事業はどのような催物なのか。

(事務局)

以前行ったプロボクシングの大会や、Bリーグなどがこれに当たる。

(和城委員)

個人利用できない日程は35日(10%)以内を目標とあるが、どこまでが許容範囲か？

(事務局)

例年の状況から35日(10%)以内を目標としていた。

平成30年度は40日だが、十分市民の方の継続利用に影響がない範囲であると思われる。今後も大会や個人利用、団体利用のバランスに配慮して調整を行っていきたい。

- ・平成30年度横浜国際プールの提案された内容について、全委員が了解した。

その他

(下村委員) 横浜国際プールには横浜トリエンナーレ2017にて横浜ビーコルセアーズ応援アートプロジェクトの取り組みに協力いただき感謝する。今後、様々な取り組みを行う場合もご協力いただけたらと思う。

閉会

- ・次回は今年7月を予定している。